



やまあじさい くれなゐ(紅)

高塔山

若葉の美しい頃ですが、毎日暑い日々が続きこれからの夏が思いやられますね。さて、今回は二期目の岡会長の心境や会員の最近の動きなどを載せています。その中で中尾三郎さんが、門司の井筒屋社長の旧宅を改装して「吉志学舎」を開学されました。地域の方はもちろん夢追塾の方の利用も歓迎とのこと、大いに活用して楽しみの幅を広げて行きたいものです。役員もいろいろと行事を考えているようです。皆さんもいいアイデアがありましたらご連絡ください。(編集子)

やり直し できますか

会長 岡 ひろみ

「人生をやりなおせるものなら、いつごろからやり直したい?」と友人から聞かれました。

私は真剣に考えました。

1日が今よりずっと長かった子どものころ? 中、高生くらいの元気いっぱいのところ? 青春とも気づかずに毎日を謳歌していたころ? 楽しく仕事がブンブンできた頃? 結婚を決める前!! 考えても結論はなかなかでない。

いっそ、ほかの人の人生のほうが良かった? シンデレラのようなお姫様? 江戸時代だったら? 男に生まれていたら!! いろいろ考えても、これだという人生がおもいつかない。でも、少しの時間夢を見て、楽しいときを過ごしました。

私にこの質問をした人は、アッサリと宣言したのです。「人生をやり直すなんてまっぴらよ。ようやくここまで来たのに」

あなたは、人生をやり直すことができるのなら、いつごろからですか?

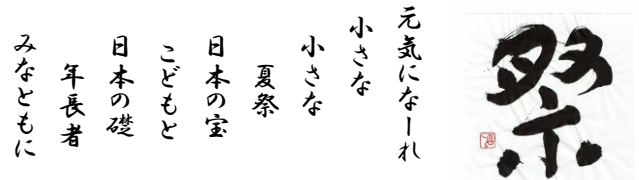
●6月11日(日)陣山市民センターでカフェテラスコンサートがあります。同期の方との出会いでお琴を弾きます。参加者の方々と唄いながらお琴の調べを楽しんでもらう予定です。(三好)

●平成29年4月に文科省の認可を受け、小倉南方に日本語学校を仲間と創立します。日本語教師として今年9月から本領発揮!

Cafe アミザーデ絆も5周年を迎えて繁盛しています。

ホノルル空港が何故「ダニエル井上空港」となったか?

日本人海外移民史の講演も年に数回行っています(寺岡)



会員の近況・嬉しかったこと・・・

(皆さんとても元気で、その活動等の一部を紹介します)

- 皆さんお元気ですか? 一番大切なものは・・・何ですか。
自分は女房・金とっていたが(ハo^)、健康がいちばんです。
- 地域の神社の総代探しに苦勞している。
高齢化と現代人の神への考え方に驚いている(神野)
- この春、潮干狩りと筍狩りに数回ずつ行って大収穫だったこと。
献血の定年70歳前に70回を超える見込みが見えてきたこと。(新見)
- B型インフルエンザの孫からうつらず健康に自信が持てたこと。(榊谷)
- アラブ首長国のアブダビ、ドバイへ行ってびっくりしたこと。世界一の〇〇、世界一の××、例えば世界一高いホテル、世界一ビル、世界一の人工島等々世界一が大好きな国でした。(幸田)
- ボランティア活動をしています。オカリナ・津軽三味線・太鼓を担当しています。民謡は先生が謡われます。喜ばれるのでうれしく思います。(野口)
- 例年周望学舎同窓会で観劇会のお手伝いに走っております。中学校の学校支援を図書館でやっています。
私は女房を育てているつもりですがわかりません。(恵藤)
- 8月26日(土)の小さな夏祭りに向けての準備中!

まちづくりは、チャレンジし続けること。

三原 信一

この数年、まちづくり、と称する活動を毎年少しずつ増やして、仲間からは、強引と白い目で見られながら進めてきました。

地元アーティストとともに「クリエイタブルフェスティバル In とばた」「よいとさ青空市」と「青空音楽祭」。今は総て、商店街を離れて、戸畑駅前のイオン九州戸畑店の施設を拝借して行っています。青空市は、1F 県道前広場でフリーマーケット。同時開催の青空音楽祭は野外ステージで。夢追隊のよさこいもご披露していただきました。まだ課題もありますが、一般市民による、地域と地球に優しい、市民のためのイベントと自負して昨年より始めました。

今年は、2年に一度行う「(第5回)アートタウン創造セミナー」と、初企画、北九州市立美術館改装記念(仮称)「アートプロムナード in TOBATA 2017」。

前回のセミナーは同期の役員の皆さんに多数ご参加頂き、同窓会野田会長にご挨拶頂きました。アートプロムナードは、三々五々、まちブラ歩きとアーティストとのコラボレーションを楽しみながら、美術館に行こうという催しです。人は知らない街を訪ねながら、人と出逢い眼と心を、偶には舌も楽しませる。楽しい思い出をつくる。そんな行事を願っています。

活動報告

1月15日「夢追いすてきな仲間たち」

「好きっちゃ熊本」好評上演

台本は7.5版まで改定。出演者12名。新見さんの現地経験をベースにした寸劇。練習回数は少なかったが本番直前まで行った。開幕までカーテンの代わりに数人が布で舞台裏を隠し、きつかったの声もあり。演技力とはかく、アドリブありの現場の切羽詰まったセリフのやり取りを伝えた。その間バックではスライドショーで被災状況を映し出し続け現地の実態を訴えた。

見ていた人からは笑いと拍手をもらった。



2月11日「牡蠣バーベキュー大会」

2月11日(日) 榎谷さん宅で開催。参加者10名。雪交じりの風が吹く中、風よけのシートを張り地元産の牡蠣、魚、野菜のバーベキューの開始。アルコールと共にごちそうを堪能しました。榎谷さんのお家族にはおにぎりや珍しい食べ物を準備していただきました。

榎谷さん、次の機会をまたお願いします。

2月19日「第5回北九州マラソン」

4期からは7名が清掃班として参加した。

九州作家「吉志学舎」が開学

各種講座・法律相談から野菜栽培まで 幅広い地域活動の拠点を目指しています。場所は門司区吉志。

開学に当たりご尽力された、代表の中尾 三郎さんに話を聞きました。

—初めに「吉志学舎」開学の経緯を話してください—

「吉志学舎」は井筒屋社長だった局哲平氏邸です。10年ほど前に活用の話がありましたが、当時私は五島市久賀島の歴史館のこと等もあり、やむなく見送りました。昨年再度その話しがあり再開発に取り組むことになりました。当面家屋は1階部分を整備し、寝泊りが出来るようになりました。邸周辺整備も行い何とか開学に漕ぎつけました。蔵書は私の分以外に寄贈してくれる方も多く収納スペースがないくらいの状況です。

—どのような事業(活動)を予定していますか—

講座・研修をはじめイベントや法律相談の他、野菜の栽培まで幅広く展開していくつもりです。スタッフには若手の顧問弁護士の他いろんな分野の人が揃っていて活躍してくれると思っています。

—地域の人の協力が大きいと聞きましたが—

その通りです。地域の方の支援がないとできません。今までも非常に積極的に支援していただきましたが、今後は野菜作りや竹山の利用等の支援をお願いしたいと思っています。吉志学舎への地域の期待は大きいものがあります。

—夢追塾との関係は—

多くの人の参加・活動を期待していますが、夢追塾関係者の参画は大歓迎です。大いに利用していただきたいと思っています。

今のところ、4期の高さんには月1回程度「介護講座」・「個別相談」をしていただくよう頼んでいます。

お茶席も開催していただきます。

皆様のご支援をよろしくお願いします。